

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
I-1- (1)-⑥ 地域など と行政の 連携・協 働による 子育て支 援の推進	1	地域に役立つ公 園づくり事業	みど・園 整備課	身近な公園の再整備に ついて、小学校区単位 で開催するワーク ショップで地域住民の 意見を聞き、地域ニ ーズを反映した公園 整備を行うことで、 これまで以上に利用 される公園を目指す。 計画段階から地域住 民が参加することで公 園への愛着を高め、地 域活動など公園利用 の活性化につなげる。 計画策定後は、翌年 から概ね2カ年で再 整備を行う。	地域に役立つ公園 づくり事業による 整備公園数	—	目標 24 公園	20 公園	18 公園	20 公園	—	継続	171,100	136,000	減額	6,825	課長 0.05 人	順調	ワークショップ参加者の年齢層に偏りが見られるため、多世代参加に向け更なる努力が必要である。ワークショップの内容を知らせる「かわら版」の全戸配布や、小学校への公園利用アンケートの実施を行うなど、引き続き、広く地域ニーズを聞き取り、かつ住民相互の理解を深めることに努める。	順調	地域と行政が連携して魅力ある公園づくりに向けて、多世代の参画が必要である。ワークショップの内容を知らせる「かわら版」の全戸配布や、小学校への公園利用アンケートの実施を行うなど、引き続き、広く地域ニーズを聞き取り、かつ住民相互の理解を深めることに努める。
I-3- (1)-② 教育関係 施設の連 携による 人材育成	2	【施策評価のみ】 到津の森公園 による学習 プログラムの 提供	公園管理 課	【施策の内容】 小学生を対象とした、 動物や自然とのふれあ いを通して命の大切さ や自然環境の保護の必 要性を学ぶプログラ ムの提供	【施策の指標】 「市民環境力」を 高め、環境保全に 対する意識が高 まった状態	—	目標 —	—	—	—	「市民 環境力」を 高め、環 境保全に 対する意 識が高ま った状態	—	—	—	—	—	課長 — 人	—	—	順調	引き続き、小学校へ学習プログラムを提供する。
II-1- (4)-④ 総合的な 災害対策 の推進	3	河川改修事業の 推進	水環境課	近年、ゲリラ豪雨や都 市化の進展に起因する 浸水被害が増加してい る。浸水被害を抑制す るため、治水事業の根 幹となる河川改修を推 進する。	浸水被害の低減	—	目標 —	—	—	—	H45年度に 河川毎に計 画している 降雨（1時 間で50～ 70mm程度） に対応でき る状態	継続	1,713,400	1,676,330	維持	86,500	課長 1.00 人	順調	頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、引き続き計画的な治水整備を進める。	順調	頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、引き続き計画的な治水整備に努める。
	4	巨過地区まちづ くりに伴う河川 整備事業	神嶽川 巨過地 区整備 室	長年市民に親しまれて いる巨過市場をさらに 魅力ある商業拠点とす るために、地元と協働 で巨過地区まちづくり 整備計画を策定し、神 嶽川の治水安全度を高 める、河川事業を推進 する。	神嶽川（巨過地 区）の治水安全度 向上	—	目標 —	—	—	—	概ね50年 に一度発生 する降雨に も対応でき よう、神嶽 川（巨過地 区）の治水 安全度向上	継続	420,000	326,000	減額	18,250	課長 0.50 人	順調	巨過市場については、平成30年度の再整備着手に向け、今後も地元関係者との合意形成に努める。また、河川改修については、引き続き市場対岸（馬借地区）の護岸工事を進める。	順調	巨過市場については、平成30年度の再整備着手に向け、今後も地元関係者との合意形成に努める。また、河川改修については、引き続き市場対岸（馬借地区）の護岸工事を進める。
II-2- (3)-④ 個人の健 康づくり を支える 環境の整 備	5	健康づくりを支 援する公園等 整備事業	緑政課	公園に高齢者の健康 増進に配慮した健康遊 具を設置し、運動教室 を開催して、利用者 に使い方を説明する。 継続的にこの健康遊 具を利用することによ り、高齢者の体力増 進に繋げる。 また、ウォーキング を通じた健康づくりを サポートする路面表示 などを実施する。	高齢者に配慮した 健康遊具の設置公 園数	—	目標 2 公園	1 公園	1 公園	2 公園	累計 20公園 （平成 29年 度）	継続	17,000	18,000	増額	3,650	課長 0.10 人	順調	健康遊具の設置や路面表示など、引き続き健康づくりを推進する環境整備に努める。	順調	健康遊具の設置や路面表示など、引き続き健康づくりを推進する環境整備に努める。

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
Ⅲ-1-(1)-③ まち美化 活動の拡 充	6	ボランティア ネットワークの 推進（道路サ ポーター）	道路 計画 課	市が維持及び管理する 道路において、道路清 掃・美化などのボラン ティア活動を行う地域 の団体を対象に、清掃 用具や花苗の支給など により支援する。	道路サポーター加 入団体数	—	目標 225 団体	211 団体	216 団体	218 団体	220団体 (H30年 度)	継続	17,810	17,810	維持	9,400	課長 0.05 人	順調	団体数は順調に増加してお り、引き続き、団体数の増加 に努める。	順調	高齢化などの理由により解散 する団体がある中、制度の見 直しも視野に入れて、継続し て活動しやすい仕組みづくり を行う。	
				実績 210 団体	215 団体							係長 0.17 人										
				達成率 93.3 %	101.9 %								職員 0.95 人									
	7	ボランティア ネットワークの 推進（公園愛護 会）	公園 管理 課	10名程度の地域住民で 組織されるボランティ ア団体で、公園の美化 活動・公園施設の点検 や禁止行為の連絡・公 園利用者のマナーづく り・市民花壇づくりな どを行い、活動面積に 応じて活動費を助成し ている。	公園愛護会の結成 数	—	目標 1,160 団体	1,160 団体	1,160 団体	1,160 団体	1,160団体 (毎年 度)	継続	45,456	46,062	維持	18,135	課長 0.24 人	順調	活動しやすい仕組みづくりに 継続して取り組み、団体数の 維持・増加に努める。			
				実績 1,167 団体	1,169 団体								係長 0.45 人									
				達成率 100.6 %	100.8 %								職員 1.45 人									
	8	ボランティア ネットワークの 推進（河川愛護 団体）	水環 境課	地域の住民で構成する 河川愛護団体に清掃道 具購入の費用等となる 補助金を交付すること により、美化活動を広 げる。また、美化活動 に参加することによ り、地域の河川を身近 に感じ、自分たちの川 として愛着を持つよう な啓発活動へとつなげ る。	河川愛護団体数	—	目標 68 団体	69 団体	70 団体	71 団体	72団体 (H30年 度)	継続	2,450	2,350	維持	440	課長 0.01 人	順調	河川愛護団体の活動について 多くの市民に関心を持って もらうため、更なる活動促進を 図る。			
				実績 67 団体	68 団体								係長 0.01 人									
				達成率 98.5 %	98.6 %								職員 0.03 人									

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
Ⅲ-1-(2)-① 魅力ある生活空間 づくり	9	「花やみどり」 による彩りと潤い のあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。 さらに特別緑地保全地区制度や保存樹制度を活用し、都市に残された貴重な緑の保全に努めていく。	市民花壇活動団体数	570団体 (H27年度)	目標 — 団体	583 団体	592 団体	601 団体	628団体 (H32年度)	継続	80,170	55,550	その他	23,150	課長	0.10 人	順調	都市景観の魅力向上を図るため、公共花壇の効率的な配置を進めるとともに維持管理の質の向上に努める。また、市民花壇への加入を推進し、地域に根ざした花づくり活動の場を拡大する。	順調	魅力ある生活空間づくりに向けて、公共花壇の効率的な配置と維持管理の質の向上を図るとともに、市民花壇の加入を推進し地域に根ざした花づくり活動の場を拡大する。また、地域ニーズを公園整備に反映するためにワークショップを開催するが、ワークショップの内容を知らせる「かわら版」の全戸配布や、小学校への公園利用アンケートの実施を行うなど、多世代の参加を求める。
		特別緑地保全地区の買収面積	—	目標 5,000 m ²	17,092 m ²	3,000 m ²	—	—	実績 0 m ²	14,510 m ²	—						課長	0.70 人				
Ⅲ-1-(2)-② 地域に役立つ公園 づくり事業	10	地域に役立つ公園 づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園 づくり事業による 整備公園数	—	目標 24 公園	20 公園	18 公園	20 公園	—	継続	171,100	136,000	減額	6,825	課長	0.05 人	順調	ワークショップ参加者の年齢層に偏りが見られるため、多世代参加に向け更なる努力が必要である。ワークショップの内容を知らせる「かわら版」の全戸配布や、小学校への公園利用アンケートの実施を行うなど、引き続き、広く地域ニーズを聞き取り、かつ住民相互の理解を深めることに努める。	順調	ワークショップ参加者の年齢層に偏りが見られるため、多世代参加に向け更なる努力が必要である。ワークショップの内容を知らせる「かわら版」の全戸配布や、小学校への公園利用アンケートの実施を行うなど、引き続き、広く地域ニーズを聞き取り、かつ住民相互の理解を深めることに努める。
			実績 24 公園	19 公園	—	—	達成率 100.0 %	95.0 %	—	課長	0.10 人						職員	0.70 人				
Ⅲ-1-(2)-③ 市民に親しまれる水際線・農山村風景づくり	11	身近に自然を感じる河川整備事業	水環境課	都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことにより、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる水辺環境整備事業を行っている。	環境に配慮した護岸整備	—	目標 —	—	—	—	生態系に配慮した整備を行うことで、自然に近い状態	継続	255,000	273,000	増額	25,750	課長	0.50 人	順調	治水対策とのバランスを図りながら、市民が身近に自然を感じられるよう、引き続き環境に配慮した護岸の整備を進める。	順調	市民が身近に自然を感じられるよう、生態系に配慮した護岸の整備を進める。
			実績 —	—	—	—	達成率 —	—	課長	0.50 人	職員						2.00 人					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）								
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数							
Ⅲ-1-(3)-② 安心して通行できる身近な道路の整備	12	バリアフリーのまちづくり	道路計画課	高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるよう、バリアフリーのまちづくりを進める。具体的には、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を行う。	主要駅周辺地区の主要経路の整備率	目標	89 %	90 %	91 %	91 %	95% (H30年度)	継続	858,902	871,500	その他	26,150	課長	0.10 人	順調	これからのバリアフリーのまちづくりの取組みは、ハード整備と合わせて、ソフト施策の充実を図ることが重要であり、関係部署と連携し、これまで実施してきたバリアフリー点検に加え、その他のソフト施策の充実を図る。	順調	「北九州市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の安全確保に向けた取組みを計画的に推進していく。							
	13	通学路の安全対策	道路計画課	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、さらなる通学路の安全対策を推進する。	通学路の危険箇所における対策完了箇所数	目標	—	—	—	—							—	継続					874,000	874,000	維持	26,150	課長	0.10 人	順調
					実績	89 %	90 %																			係長	1.00 人		
						達成率	100.0 %	100.0 %									職員	2.00 人											
Ⅴ-1-(2)-① 都心のにぎわいづくり	14	小倉駅・黒崎駅前への賑わいづくりの推進	道路計画課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	歩いてみたくなる歩行空間を創出	目標	—	—	—	—	歩いてみたくなる歩行空間の創出	継続	1,640,700	880,000	減額	61,500	課長	1.00 人	順調	小倉駅南北公共連絡通路のリニューアルが着実かつ効果的に実施できるように、地元団体やJR九州等の関係者と連携して引き続き取組みを進める。	順調	都心のにぎわいづくりに向け、引き続き小倉駅南北公共連絡通路のリニューアル及び旦過地区再整備着手に向けて地元の合意形成を進めていく。また、都心部の公共空間魅力アップや、歩いてみたくなる歩行空間の整備にも取り組む。							
	15	旦過地区まちづくりに伴う河川整備事業	神嶽川旦過地区整備室	長年市民に親しまれている旦過市場をさらに魅力ある商業拠点とするために、地元と協働で旦過地区まちづくり整備計画を策定し、神嶽川の治水安全度を高める、河川事業を推進する。	神嶽川（旦過地区）の治水安全度向上	目標	—	—	—	—							概ね50年に一度発生する降雨にも対応できるよう、神嶽川（旦過地区）の治水安全度向上	継続					420,000	326,000	減額	18,250	課長	0.50 人	順調
				実績	—	—																							
					達成率	—	—									職員			1.00 人										
Ⅴ-1-(2)-② 文化・交流、居住機能を重視した副都心づくり	16	小倉駅・黒崎駅前への賑わいづくりの推進	道路計画課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	黒崎駅南北自由通路利用者数	目標	—	—	—	—	4,500人/日 (H24年度)	継続	1,640,700	880,000	減額	61,500	課長	1.00 人	順調	黒崎駅南北自由通路、黒崎駅前ペデストリアンデッキルーフの整備が着実かつ効果的に実施できるように、地元団体やJR九州等の関係者と連携して引き続き取組みを進める。	順調	副都心のにぎわいづくりに向け、引き続き黒崎駅南北自由通路及び黒崎駅前ペデストリアンデッキルーフの整備を行う。							
					実績	—	—																			係長	2.00 人		
					達成率	—	—																			職員	4.00 人		
Ⅴ-2-(2)-① 広域物流ネットワークの強化	17	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	目標	—	—	—	—	13分 (H39年度)	継続	1,500,000	1,500,000	維持	69,000	課長	1.00 人	順調	引き続き、早期供用に向けた計画的な整備を図る。事業費は一層の選択と集中を図り、効率的な事業展開を図る。	順調	広域物流ネットワークの強化に向けて、計画的な整備を図る。							
	18	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	目標	—	—	—	—							28分 (H37年度)	継続					4,670,995	5,279,564	増額	217,250	課長	3.00 人	順調
				実績	—	—																							
					達成率	—	—									職員			15.70 人										

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
V-2- (2)-② 市民の交通利便性の向上と産業活動の支援	19	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	43分 (H21年度)	—	—	—	—	13分 (H39年度)	継続	1,500,000	1,500,000	維持	69,000	課長 1.00 人 係長 2.00 人 職員 5.00 人	順調	引き続き、早期供用に向けた計画的な整備を図る。事業費は一層の選択と集中を図り、効率的な事業展開を図る。	順調	市民の交通利便性の向上と産業活動の支援に向けて、計画的な整備を図る。
	20	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	36分 (H21年度)	—	—	—	—	28分 (H37年度)	継続	4,670,995	5,279,564	増額	217,250	課長 3.00 人 係長 6.50 人 職員 15.70 人	順調	暫定供用など、計画的な整備を図る。事業費は一層の選択と集中を図り、効率的な事業展開を図る。		
V-3- (1)-② 都市基盤・施設の適正な維持管理	21	都市モノレール長寿命化事業（道路・街路）	道路維持課	北九州モノレールは、昭和60年に開業後、約30年が経過しており、軌道桁やそれを支える支柱等について、経年的な劣化が見られる。このため、劣化対策（耐震対策も含む）を行い、桁や支柱等、構造物の長寿命化や維持管理費の縮減を図り、市民の重要な交通機関であるモノレールの安全性・信頼性の確保を図る。	インフラ構造物の長寿命化を実施することで、モノレールの安全・安心な運行を確保	—	—	—	—	完了 (H33年度)	継続	890,100	857,750	維持	57,375	課長 0.75 人 係長 1.50 人 職員 4.50 人	順調	引き続き、計画的な劣化対策、耐震対策を行うことにより、モノレールの安全・安心な運行の確保を目指す。			
	22	橋梁・トンネルの長寿命化への計画的な取り組み	道路維持課	市内には、約2,000の橋梁と42本のトンネルがあり、高齢化・老朽化の進展が懸念されている。そこで、従来の対症療法型補修を改め、予防保全型に移行するため、「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」（H22.3）及び「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」（H25.2）を策定した。本事業は、この計画をもとに、予防保全が有効な状態である健全度Ⅲ以上の橋梁とトンネルを増加させることで市民の安全・安心を確保する。	主要橋梁の健全度向上による市民の安全・安心の確保 トンネルの健全度向上による市民の安全・安心の確保	—	—	—	—	全主要橋梁の健全度Ⅲ以上 (H31年度) 全トンネルの健全度Ⅲ以上 (H33年度)	継続	1,774,000	1,480,000	減額	100,150	課長 1.10 人 係長 2.00 人 職員 9.00 人	順調	引き続き、計画に沿って長寿命化対策を実施する。	順調	適正な維持管理に向けて、引き続き計画に沿って長寿命化対策を実施する。	

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
VI-1-(2)-② あらゆる主体による環境政策への参加の推進	23	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標 2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	継続	2,600	2,674	維持	1,120	課長 0.03 人	係長 0.04 人	職員 0.05 人	順調	引き続き、農業体験教室を実施する。	順調	環境政策への市民参画を推進するため、引き続き、農業体験教室を実施する。
VI-2-(1)-③ 総合的な緑化・森林整備の実施	24	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。さらに特別緑地保全地区制度や保存樹制度を活用し、都市に残された貴重な緑の保全に努めていく。	市民花壇活動団体数	570団体 (H27年度)	目標 — 団体	583 団体	592 団体	601 団体	628団体 (H32年度)	継続	80,170	55,550	その他	23,150	課長 0.10 人	係長 0.70 人	職員 2.00 人	順調	都市景観の魅力向上を図るため、公共花壇の効率的な配置を進めるとともに維持管理の質の向上に努める。また、市民花壇への加入を推進し、地域に根ざした花づくり活動の場を拡大する。	順調	総合的な緑化整備に向けて、市民花壇の加入を推進し、地域に根ざした花づくり活動の場を拡大する。	
VI-4-(1)-② 身近に自然を感じる都市づくり	25	身近に自然を感じる河川整備事業	水環境課	都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことにより、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる水辺環境整備事業を行っている。	環境に配慮した護岸整備	—	目標 —	—	—	—	生態系に配慮した整備を行うことで、自然に近づくことができる	継続	255,000	273,000	増額	25,750	課長 0.50 人	係長 0.50 人	職員 2.00 人	順調	治水対策とのバランスを図りながら、市民が身近に自然を感じられるよう、引き続き環境に配慮した護岸の整備を進める。	順調	市民が身近に自然を感じられるよう、生態系に配慮した護岸の整備を進める。	

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
VI-4-(1)-③ 市民とのふれあいの推進	26	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指す。花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。さらに特別緑地保全地区制度や保存樹制度を活用し、都市に残された貴重な緑の保全に努めていく。	市民花壇活動団体数	570団体 (H27年度)	目標 — 団体	実績 574 団体	583 団体	592 団体	601 団体	628団体 (H32年度)	継続	80,170	55,550	その他	23,150	課長 0.10 人	順調	都市景観の魅力向上を図るため、公共花壇の効率的な配置を進めるとともに維持管理の質の向上に努める。また、市民花壇への加入を推進し、地域に根ざした花づくり活動の場を拡大する。	順調	市民と自然とのふれあいの推進に向けて、農業体験教室を継続実施する。また、市民花壇の加入を推進し、地域に根ざした花づくり活動の場を拡大する。	
				特別緑地保全地区の買収面積	—	目標 5,000 m ²	実績 0 m ²	17,092 m ²	3,000 m ²	—	—	継続					係長 0.70 人						
	27	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標 2,000 人	実績 2,447 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	継続	2,600	2,674	維持	1,120	課長 0.03 人	順調	引き続き、農業体験教室を実施する。	順調		
							達成率 122.4 %	116.4 %									係長 0.04 人						
VII-3-(2)-① 東九州地域との連携	28	【施策評価のみ】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	道路計画課	【施策の内容】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	【施策の指標】東九州自動車道の建設促進	—	目標 —	実績 —	—	—	—	東九州自動車道の建設促進	—	—	—	—	—	課長 — 人	順調	—	順調	整備促進に向けて、沿線自治体と協力して、要望活動に取り組む。	
							達成率 —	—										係長 — 人					